

経営比較分析表（平成28年度決算）

宮城県栗原市 栗原市立栗駒病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
70,530	4,954	第2種該当	13:1	

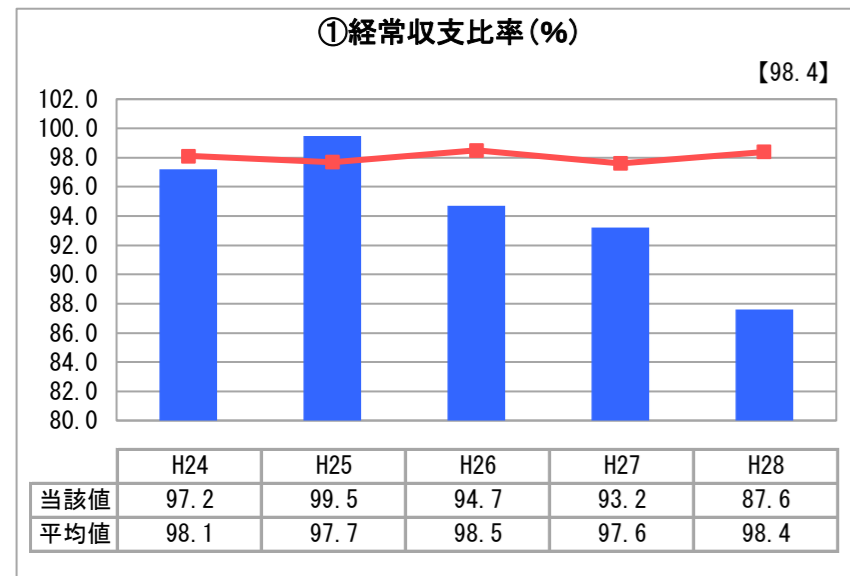
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

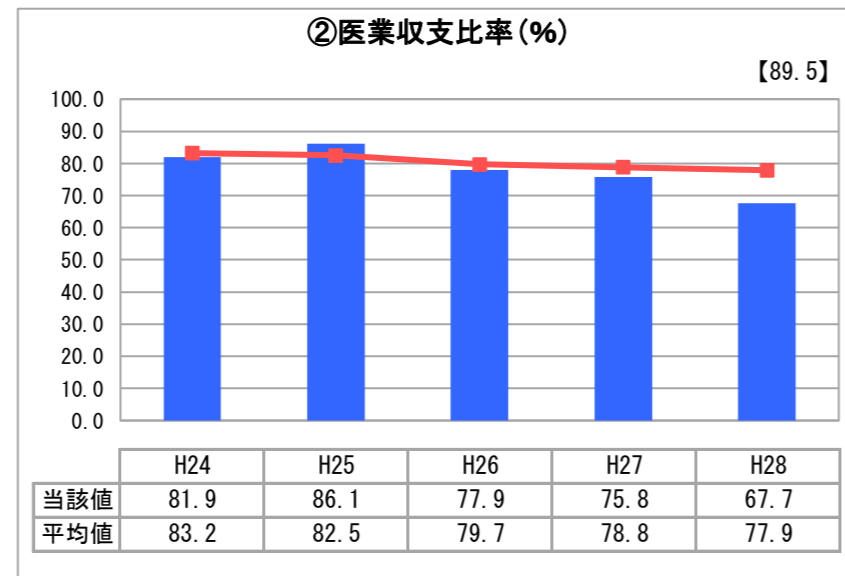
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
45	30	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	75
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
39	28	67

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	平成28年度全国平均

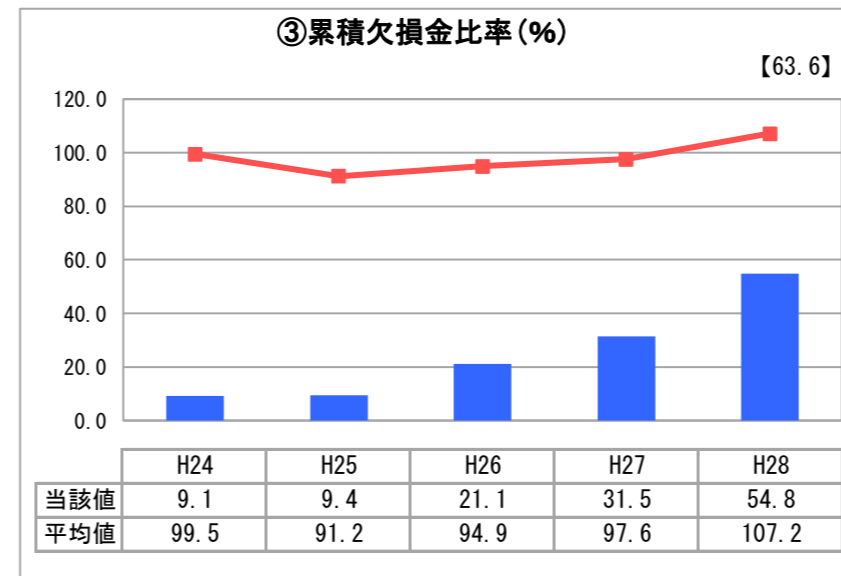
1. 経営の健全性・効率性



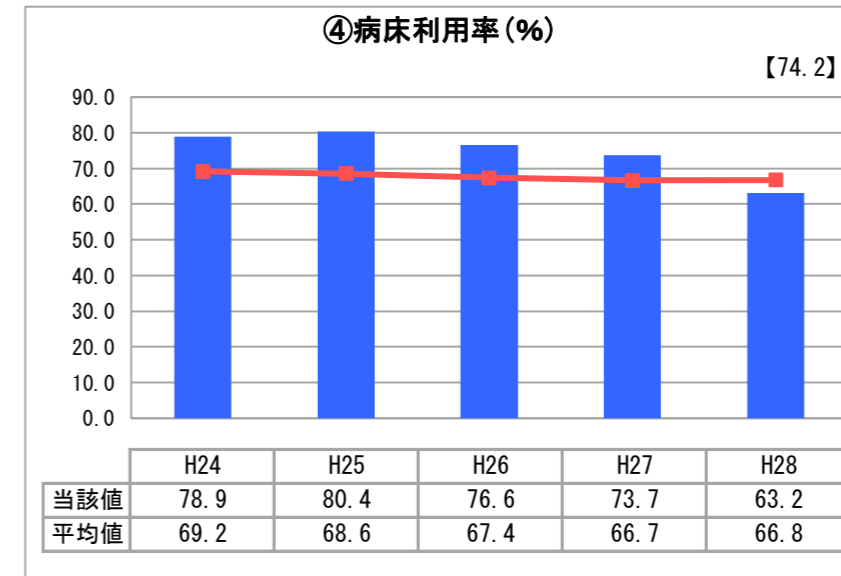
「経常損益」



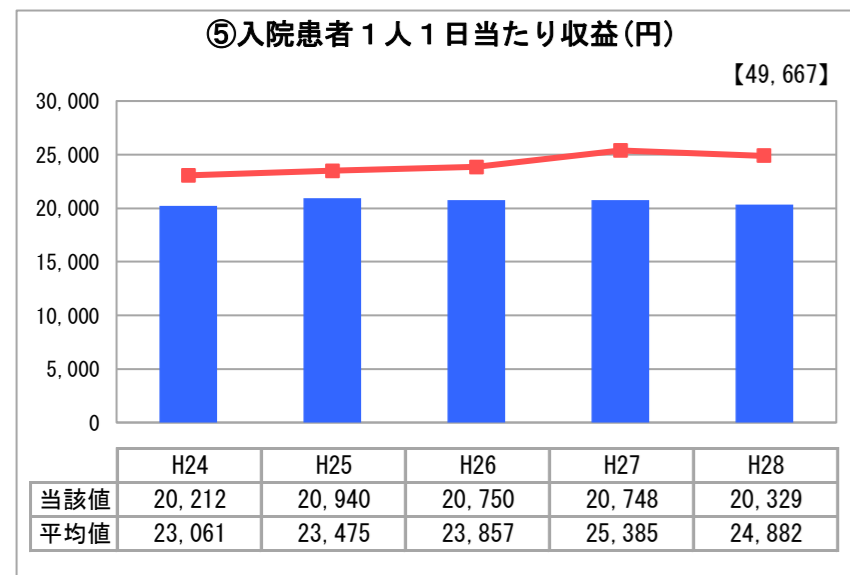
「医業損益」



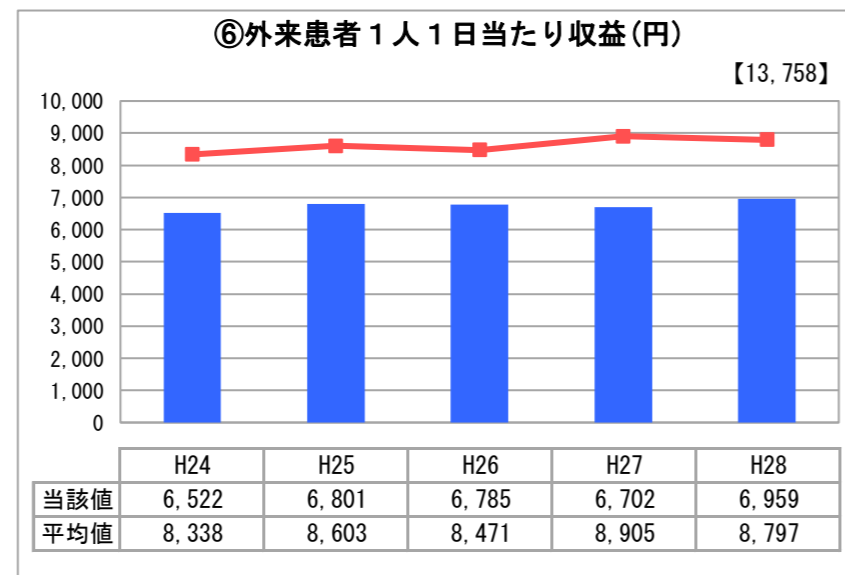
「累積欠損」



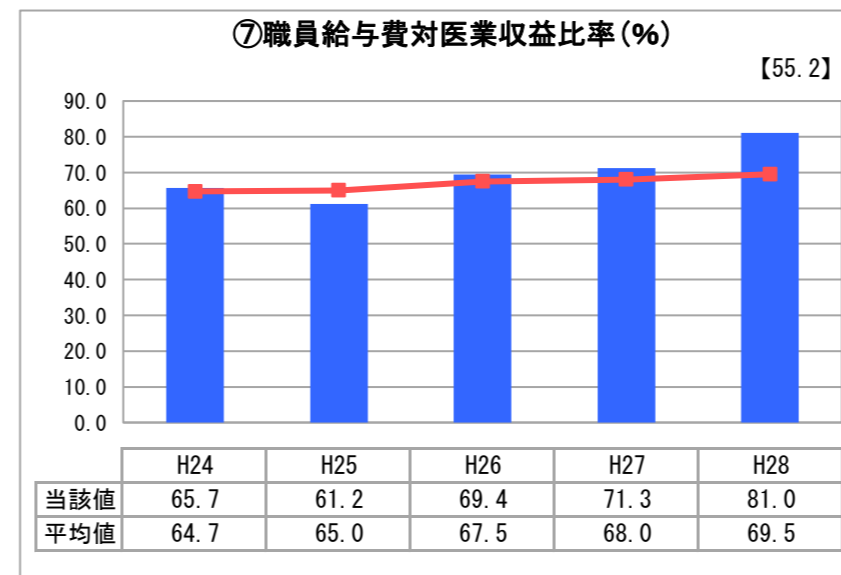
「施設の効率性」



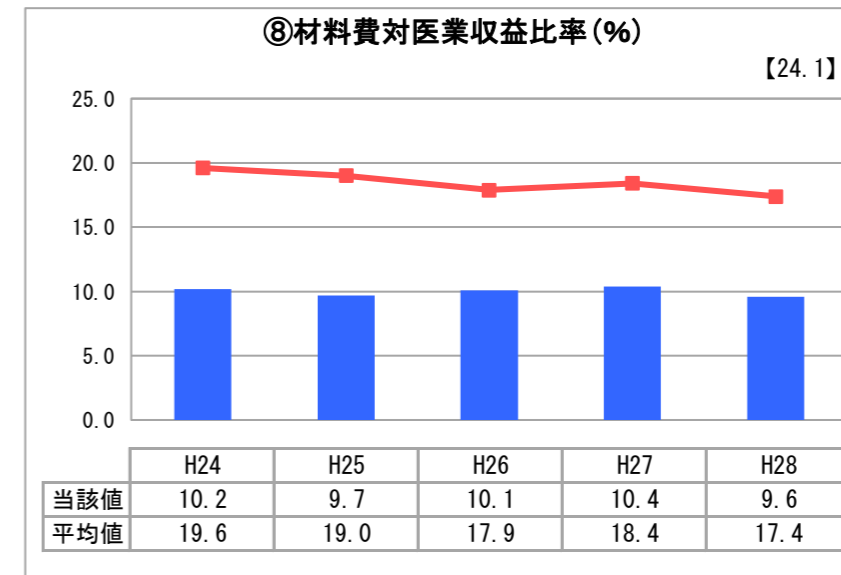
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

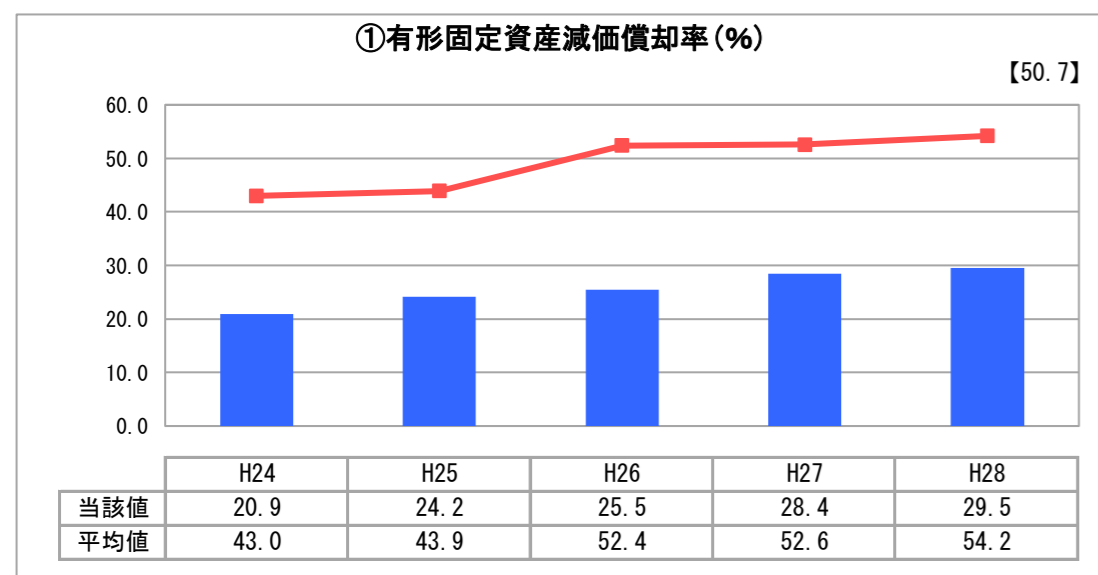


「費用の効率性①」

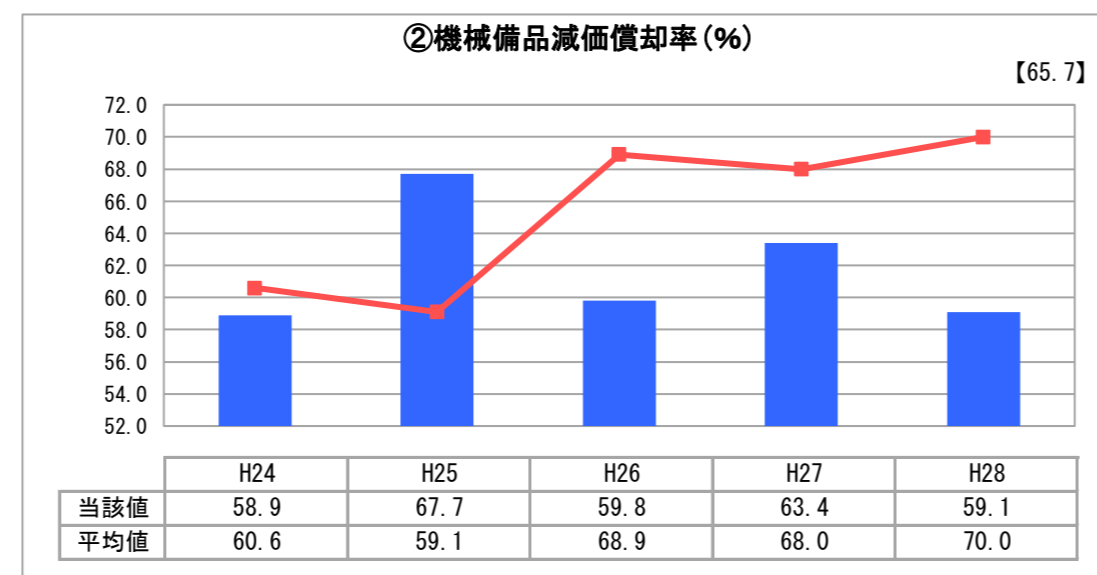


「費用の効率性②」

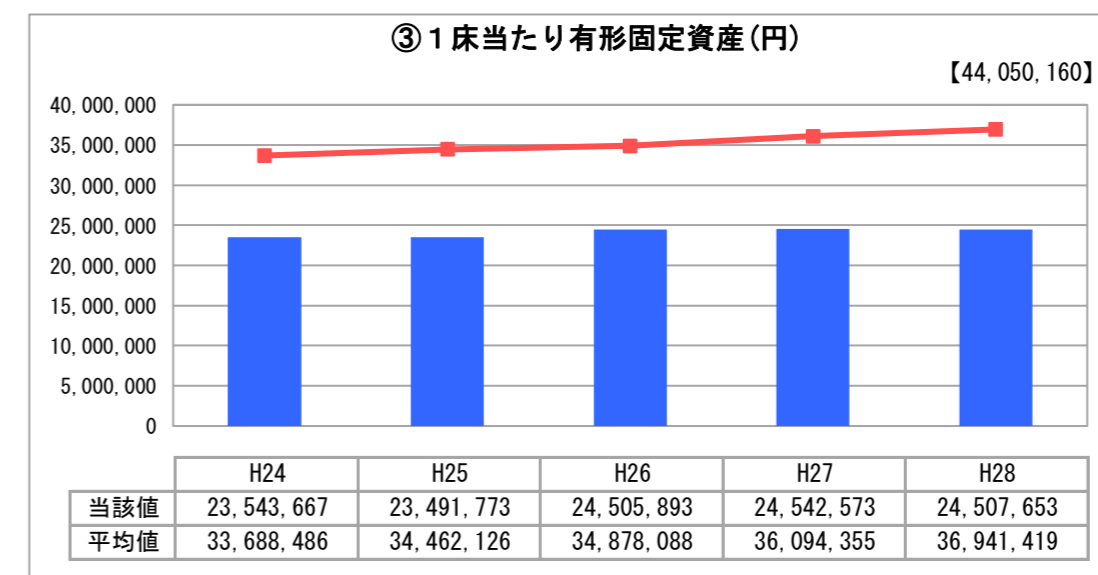
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

栗駒医療圏で唯一の入院施設の有る病院として、地域の診療所や介護施設において入院治療が必要と判断された患者について、受け入れてもらえる入院施設として住民の安心安全に貢献している。この地区の高齢化少子化に対応する介護施設、療養施設としての役割。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者減少の原因については、常勤医の退職に伴うものと地域の人口減少によるものと考えられる。医療スタッフの高齢化により費用における給与率が増加している。診療圏人口の高齢化による慢性期患者の受入れを増加させることが課題となっている。医師の高齢化により診療を抑制せざるを得ないので、若手の医師の確保が必要と思われる。

2. 老朽化の状況について

病院新築時に購入した医療機器が耐用年数を超え始めている為、将来構想を見据えた医療機器の更新が必要となっている。病院本体の空調設備についても耐用年数を超えてきており、室外機・室内機共に故障はじめてきているので、定期的な修繕が必要となってきている。病院本体の設備に関しても、故障の修理や交換が必要な部品も増え続けてきている。

全体総括

栗駒、鶯沢診療圏の人口が減っている中で、それに伴い患者数も確実に減ると思われるが、新公立病院改革プランの取組により、経営健全化を図っていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。